



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No.2
平成 30 年 5 月 28 日

凡 事 徹 底

校長 竹内 康裕

私の母の家では毎年花が元気よく咲き、おいしい野菜がとれました。バットの素振りもできないような狭い庭には少しではありますが季節の野菜が、また、ベランダやコンクリートのたたきにはきれいな鉢植えの花が訪れる私たち家族の目と胃袋をいつも楽しませてくれました。

花心に乏しかった私は仕事が忙しいことを言い訳に世話を怠りがちで、頂き物の鉢植えの花はその年の観賞時期が過ぎると決まって元気がなくなり、枯らしてしまうか、枯れなかったとしても翌年には花は咲きませんでした。可哀そうな鉢を母に預けること多数、それでも無責任な私は預けたことさえも翌年には忘れていました。

実は、毎年きれいに咲いて楽しませてくれたほとんどの花は私が頼み込んだものでした。たくさん増えてご近所にも分けたものもあったようです。

育て方に詳しいのかと尋ねても「私にはそういう詳しい知識は無い。花や野菜が好きだけ。育っていくのを見るのが楽しい。」と言います。肥料も近くの園芸店の店頭に並んだ安売りのものを適当に選んでもらってたまに与えている程度だそうです。「ただね、」彼女は続けます。「特別なことは何もしていないけど、命のあるものは何でも毎日大切に育てあげないとね。」「新芽が出てきたら嬉しいし、元気がなければ心配だし。お日様が当たりすぎたら苦しそうだし、日陰ばかりでは可哀そうだし…。いつも気に留めていれば、様子や状態、どのくらいの水をやったらよいかわかるのだそうです。

イギリスの作家で思想家のジェームズ アレン氏は著書『「原因」と「結果」の法則』に、人の生き方を園芸に例えて、次のように言っています。「人間の心は庭のようなものです。それは知的に耕されることもあれば、野放しにされることもあります。(中略)優れた園芸家は、庭を耕し、雑草を取り除き、美しい草花の種を蒔き、それを育み続けます。同様に私たちも、素晴らしい人生の中に生きたいのなら、それを育み続けなくてはなりません。」

私たちも生き物で、日々の変化に対応しながら毎日成長しています。ほったらかしにされた植物の悲しい末路と同様、私たちの心や考え方そして習慣なども、気に留めなかったり手を抜いたりしていると少しずつよからぬ方向へ傾き、加速度的に悪化します。そのまま時が流れ、気が付いた時には不誠実で利己的な実がびっしりぶら下がっています。

自分の心や行いを毎日大切に看る。晴雨寒暖、山あり谷あり、喜怒哀楽。取り巻く環境や状況に様々な変化があっても、自分の正しい心と行いを気に留める。省みつつ心の姿勢や考え方の向きを看続けることで、自分を大切にしたいものです。

凡事徹底。＝「当たり前のこと(凡事)を徹底して行うこと。当たり前のことをただ当たり前にやるのではなく、とことん徹底すること。」「徹底」が強調されています。熱く深くとことん行うことも「徹底」ですが、庭の花を育てるように、動作の量は少しであっても大切なことを絶えず意識において行動し続けることも「徹底すること」であると思います。

アレン氏はこう続けています。「正しい思いを巡らし続けることで、私たちは気高い崇高な人間へと上昇することができます。(中略) 良い思いは良い実を結びます。」

■□ 離任式 ■□

離任された先生方、ありがとうございました！ 十中の伝統を守ります！

5/2（水）、この3月に十中を去られた先生方がご挨拶にお見えになりました。残念ながら延本先生はお仕事の関係でお越しいただけませんでした。心温まるメッセージをいただきました。お世話になった先生方のお話をよい態度で聞き、代表生徒のお礼の言葉と花束、全校生徒の『校歌』と『新しい朝』で感謝の気持ちを伝えました。



【上原先生】

私は音楽科の教員ですが、もともと合唱がとても好きだったわけではありませんでした。府中十中に来て、「合唱はよいものだ」と強く思うようになりました。人は一生のうちにたくさんの人と出会います。私は、府中十中での7年間に、約1000人の生徒と「あくびの歌」「犬のお腹の歌」を歌ってきました。その出会いはとても素晴らしいものです。これからも時々、十中に来ます。

最後にピアノの弾き語り、中島みゆきの「糸」を熱唱してくださいました。

上原先生には、学校支援員として1年生の音楽の授業（ティームティーチング）の補助に入ってくださいます。



【永田先生】

八王子の館小中学校は小中一貫校です。学校に小学生がいます。校舎が二つあります。正直なところ未だに慣れません。でも、落ち着いた雰囲気は十中に似ています。野球部副顧問をしていますが、ノックが打てません。振り返ると、十中での7年間にたくさん成長させてもらいました。私にとって十中は特別な学校です。心から大好きです。生徒の皆さんは今の十中での生活を当たり前の環境のように思うかもしれませんが、先輩や先生方の思いがたくさんつまっているのです。

今日はみなさんの素晴らしい合唱を聞きに来ました。またサッカー部のみんなの日焼けした顔を見ることができ頑張っている様子がかがえしました。うれしいです。

十中のみなさんが大きく成長してくれることを祈っています。



【野中先生】

御蔵島は全島民が320人です。ちょうどここにいる十中生全員が島民のようなものです。島は断崖絶壁に覆われ、道は坂道ばかり、通勤は15分山登りです。道端にはヘビやトカゲ、クモがたくさんいます。子供は小中合わせて22～23人、教員の方が多いです。中1が1人、中2が1人、中3が1人です。私は中学1年生の女子1人の担任をしています。御蔵島にコンビニはありません。お店は6時に閉店してしまいます。でも、島での生活が少しずつ楽しくなってきました。島はマイナスイオンであふれています。

「あれがある」「あれがない」などと考えるよりも、自分がどのように考え、自分がどのように生きていくのが大切なのだと思います。私は島で全力で頑張ります。そして、今を楽しみます。



【高橋先生】

みんなにも言いたいし、自分自身にも言いたいことがあります。それは、「今ある現状に満足しない」ということです。自分自身を振り返ってみて、「リスクを取りたくない」「傷つきたくない」そんな思いが強かったのだらうと思います。しかし、最近になって、挑戦を忘れてはいけないことに気付きました。ストレスは自分を大きくしてくれるものです。十中で多くのことを学びました。教師とは、教育とは、なんとなく分かりかけてきました。

みなさんも成長する機会を逃さずに日々成長してほしいと思います。

高橋先生には、学校支援員として、放課後学習教室や授業補助等の学習支援、及び、部活動外部指導員として、サッカー部の指導をしていただいています。



【延本先生】

新しいクラスには慣れましたか。一つ先輩になって顔つきも変わりましたか。新入生から見て、素敵な先輩になれていますか。先輩として、十中の良き伝統を行動で示すことができているのでしょうか。皆さんのことだから、きっと言われなくてもできていることなのでしょう。その雄姿を見ることができないのはとても残念です。今回、突然のお別れになり、寂しい気持ちはあります。しかし、別れはいつかやってくることは分かっていました。三年生の皆さんとは、一年早かったような気もしますが、三年生の皆さんと過ごした二年間は、私にとっても良い思い出として残っています。特に行事での皆さんの一生懸命取り組む姿勢は、今でも脳裏に浮かびます。今年の運動会でも、大縄ではどのクラスも50回以上は跳んだり、大百足競走ではどのクラスも転倒せずにゴールするんだらうなどと想像しています。音楽祭も、抜群の歌声を披露して会場が感動の渦に包まれるんだらうなどと運動会同様に想像してしまいましたが、ぜひ、何事にも全力で取り組み、勝って喜び、負けて悔しんでください。全ての結果が自分を大きく成長させてくれることなのでしょう。私も十中では、一年一年を計画的に全力で取り組んだつもりです。だからこそ、今回の異動については悔いはありません。それよりも、一期一会を大切に、別れと出会いに感謝しながらこれからの生活を送っていきたいと思っております。皆さんも新しい先生や友達との出会いに感謝していつか来る別れに向かって全力で日々を過ごしてもらいたいです。

先日は、クラスの生徒達からサプライズでハッピーバースデーを給食中に歌ってもらうなど、相変わらず楽しくやっています。調布三中は、合唱コンクールがあるそうなので、必ず金賞を獲らせていただきます。その前に、運動会で優勝を目指します。運動会では、十中と同じ「筏流し」があります。得意種目です。一年生の皆さんも「筏流し」頑張ってください。

最後に、保護者の皆さま、短い間ではありましたが、いろいろとお世話になりました。保護者の皆さまの支えがあってこそこの十中教師生活でした。本当に感謝しております。これからも私同様、十中を支えていただけると幸いです。ありがとうございました。

それでは、皆さん、また府中で「一期一会」。

*** 標準服（冬服）の無料修理サービスについて ***

本校の標準服を取り扱っている「ヤスダ」と「田中屋」では、6月1日～7月31日の期間、標準服の丈出し（1回限り）やほころびの修理を無料で行っていますのでご利用ください。なお、この期間以外は有料となりますのでご注意ください。夏服無料修理期間は10月1日～10月31日です。

*** PTA一斉メール（マチコミメール）登録のご案内 ***

以前、PTAからご案内させていただきましたマチコミメールですが、5/28現在での登録状況は、1年生が92.9%（79/85）、2年生が73.5%（86/117）3年生が70.29%（71/101）でした。登録は任意ではありますが、PTAからのお知らせや不審者情報、学校行事予定の急な変更等の情報が配信されます。ご協力をお願いいたします。

■□ 部活動 ■□

女子バスケットボール部が都大会に出場しました。

第9ブロック春季大会において女子バスケ部が準優勝という成績を収め、都大会に出場しました。6月になると3年生にとって最後の公式戦となる選手権大会が始まります。頑張ってください。

【平成30年度部活動入部状況】

No.	部 名	性別	男子計	女子計	1年計	2年計	3年計	総計
1	バレーボール	男子						17
		女子		17	5	7	7	
2	バスケットボール	男子	24		9	14	1	39
		女子		15	4	5	6	
3	剣道	男子	7		3	0	4	11
		女子		4	0	3	1	
4	サッカー	男子	19		5	6	8	19
		女子		0	0	0	0	
5	バドミントン	男子	26		9	14	3	45
		女子		19	2	9	8	
6	テニス	(※)男子	3		0	3	0	25
		女子		22	10	8	4	
7	(※)陸上競技	男子	1		0	0	1	1
		女子		0	0	0	0	
8	(※)卓球	男子	1		1	0	0	1
		女子		0	0	0	0	
9	(※)水泳	男子	2		0	1	1	5
		女子		3	2	1	0	
10	(※)相撲	男子	2		0	2	0	2
		女子						
11	(※)新体操	男子						1
		女子		1	0	0	1	
12	アスリート	男子	50		10	20	20	59
		女子		9	7	0	2	
13	吹奏楽	男子	8		2	1	5	25
		女子		17	5	8	4	
14	アート	男子	3		3	0	0	21
		女子		18	6	4	8	
15	パソコン	男子	13		3	7	3	13
		女子		0	0	0	0	
入部者数			159	125	86	111	87	284
在籍人数			170	133	85	117	101	303
入部率 %			93.53	93.98	101.2	94.87	88.14	93.73

※男子テニス、陸上競技、卓球、水泳、相撲、新体操については、保護者引率を条件とした大会参加のための中体連個人登録をしていますので、学校での活動はありません。

■□ 第39回運動会 ■□

スローガン『不撓不屈』 困難を乗り越え、勝敗を超えた感動を！

いよいよ第39回運動会まで一週間を切りました。一人一人が日頃の体育の授業や部活動等で培ってきた体力とクラスの練習で築いてきた団結力を思う存分に発揮してほしいと思います。今回は、全校・学年練習等をできるだけ生徒の力で運営するということが一つのテーマです。そのため、実行委員の苦労は今まで以上に大きいと思いますが、きっと最後まで自分たちの力でやり切り、有終の美を飾ってくれることと信じています。運動会は参加するものではなく、創り上げるものです。競技、入場行進、準備体操、応援、係の活動等、全てのことに合わせてひたむきに取り組めてこそ素晴らしい運動会が完成するのです。そのひたむきな姿が観る人に感動を与えるのです。